



いもる

'82

4月

第289号



働く人

筆で伝える

職人氣質

池田 喬さん

街路や店先にかかせないのがネオンサインや看板。

遠くからでもひと目でわかる——これが看板の使命であると語る池田さん。

「看板屋は、大変な仕事ですよ。それだけやりがいもありますけど。」

大工や電気、土方とそれぞれ関連のある仕事をしなければならぬから、面白いとも言えますね。やはり、好きでないとできません。

親父と一緒に仕事をしてますけど、いまだに仕事に怒られることもあります。いずれば、師匠を踏み越える看板を作りたいですね。

看板の命は、見易さですね。それにはくせのない字、調和のとれた色彩、流行感覚などが必要ですよ。」

ペンキの匂いがたちこめる仕事場。看板師として一人前になるには、長い下積み生活を乗り越えなければならぬと言います。

〈イケダ看板塗装店主〉